

社会資本総合整備計画 事後評価書

安心・安全な災害に強いまちづくり推進(防災・安全)

千葉県 市川市

平成28年12月

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成28年12月 1日

| | | | |
|-------|---|------|--------|
| 計画の名称 | 安心・安全な災害に強いまちづくり推進（防災・安全） | | |
| 計画の期間 | 平成25年度～平成27年度（3年間） | 交付対象 | 千葉県市川市 |
| 計画の目標 | <p>市川市では災害時に市民へ情報伝達手段として同報系防災行政無線を整備している。この防災行政無線は16年前にアナログ波で整備されたものであり、老朽化している。</p> <p>また、現在の活用方法としては音声発報のみの利用であることから、発報直後には「聞こえない」「放送の内容がわからない」と多くの住民から意見や問合せが殺到し、より確かな情報を求めている住民を困惑させていることや災害対応事務にも支障を及ぼす結果となっている。そこで、緊急時における市からの情報提供と市民の情報取得手段についてアンケート調査を行ったところ、多くの市民が防災行政無線、携帯電話、スマートフォンやWEBサイトなどの媒体から情報を入手しているという結果がでている。</p> <p>しかし、満足度は低く、更なる品質の向上と改善を求めていることもわかった。これらを踏まえ、更なる多様性と利便性を図るために市川市の情報伝達手段の要となる防災行政無線をデジタル化し、他の情報システムと連動させることにより高度情報化に対応した防災情報システムの構築を行うこととする。さらに、情報弱者や高齢者については、電話自動応答を整備しアナログ的な情報提供を行うことに併せ減災マップや地域防災計画（概要版）を作成し、整備した内容を広く市民に周知するなど更なる効果を促進する。</p> | | |

| | |
|----------------|---|
| 計画の成果目標（定量的指標） | 防災行政無線設備をデジタル化し、他の情報システムと連動させることにより迅速な情報提供かつ高度情報化に対応したシステムの構築を行う。 |
|----------------|---|

| 定量的指標の定義及び算定式 | 定量的指標の現況値及び目標値 | | | 備考 | | | | | | |
|------------------------|------------------|----------------|-----------------|----------|---|------|---|---------|---------------------------|------|
| | 当初現況値 (H25当初) | 中間目標値 (H26) | 最終目標値 (H27末) | | | | | | | |
| 災害時における情報提供手段に対する市民満足度 | 8% | 14% | 20% | | | | | | | |
| 全体事業費 | 合計 (A+B+C) | 545.5百万円 | A | 500.0百万円 | B | 0百万円 | C | 45.5百万円 | 効果促進事業費の割合 C / (A+B+C) | 8.3% |

事後評価

| | |
|--|--------------------------------|
| ○事後評価の実施体制、実施時期 | |
| 事後評価の実施体制 | 事後評価の実施時期 |
| 【実施体制】市民アンケートをもとに市川市 危機管理室 地域防災課が事後評価を実施 | 平成28年 公表の方法 市川市ホームページに掲載 |

1. 交付対象事業の進捗状況

| 交付対象事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|----------------------|------|------|----------|-----|---------------------|---------------------|----------------|------------|-----|-----|-----|-----|----------------|----|
| A1 基幹事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接 間接 | 事業者 | 要素となる事業名 (事業箇所) | 事業内容 (延長・面積等) | 市町村名 | 事業実施期間（年度） | | | | | 全体事業費 (百万円) | 備考 |
| | | | | | | | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| 1-A-1 | 防災 | 一般 | 市川市 | 直接 | 市川市 | 防災行政無線再整備事業（市川市八幡他） | 親局、遠隔、子局既設185局、 | 市川市 | | | | | | 500.0 | |
| | | | | | | | | | 合計 | | | | | 500.0 | |
| B 関連社会資本整備事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接 間接 | 事業者 | 要素となる事業名 | 事業内容 (延長・面積等) | 市町村名 | 事業実施期間（年度） | | | | | 全体事業費 (百万円) | 備考 |
| | | | | | | | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| | | | | | | | | | 合計 | | | | | | |
| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | | | | | | | | | | | 備考 | | | |
| C 効果促進事業 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 番号 | 事業種別 | 地域種別 | 交付対象 | 直接 間接 | 事業者 | 要素となる事業名 | 事業内容 | 市町村名 港湾・地区名 | 事業実施期間（年度） | | | | | 全体事業費 (百万円) | 備考 |
| | | | | | | | | | H25 | H26 | H27 | H28 | H29 | | |
| 1-C-1 | 防災 | 一般 | 市川市 | 直接 | 市川市 | 防災サーバー整備事業 | 防災サーバー1基、電話自動応答装置1基 | 市川市 | | | | | | 26.8 | |
| 1-C-2 | 防災 | 一般 | 市川市 | 直接 | 市川市 | 減災マップ作成事業 | 減災マップ 5万部 | 市川市 | | | | | | 2.7 | |
| 1-C-3 | 防災 | 一般 | 市川市 | 直接 | 市川市 | デジタル戸別受信機整備事業 | デジタル戸別受信機 150基 | 市川市 | | | | | | 14.1 | |
| 1-C-4 | 防災 | 一般 | 市川市 | 直接 | 市川市 | スマホ版防災サイト構築事業 | 防災サイトの構築 1式 | 市川市 | | | | | | 0.0 | |
| 1-C-5 | 防災 | 一般 | 市川市 | 直接 | 市川市 | 市川市地域防災計画（概要版）作成事業 | 市川市地域防災計画（概要版）14万部 | 市川市 | | | | | | 1.9 | |
| | | | | | | | | | 合計 | | | | | 45.5 | |

| 番号 | 一体的に実施することにより期待される効果 | 備考 |
|-------|--|----|
| 1-C-1 | 防災行政無線再整備事業（1-A-1）と一体的に整備することで、これまで統一管理されていなかった情報発信網の一元化を図り、様々な媒体により瞬時に情報提供ができるようになる。また、情報弱者対応として、電話自動応答装置を導入し無線の発報内容を電話音声で伝えることで情報提供の充実を図る。 | |
| 1-C-2 | 防災行政無線再整備事業（1-A-1）と一体的に市の情報伝達手段や多くの防災情報を掲載した「減災マップ」を作成し、整備した内容を広く市民に周知するなど更なる効果を促進する。 | |
| 1-C-3 | 防災行政無線再整備事業（1-A-1）と一体的に整備することで、多くの子ども達やお年寄りが集う学校や幼稚園、公共施設等へ迅速かつ正確な情報を提供する。 | |
| 1-C-4 | 防災行政無線再整備事業（1-A-1）と一体的に整備することで、発報内容のほか、様々な角度で災害情報等を簡単に入手することが可能となる。 | |
| 1-C-5 | 防災行政無線再整備事業（1-A-1）と一体的に市の情報伝達手段や多くの防災情報を掲載した「市川市地域防災計画（概要版）」を作成し、整備した内容を広く市民に周知するなど更なる効果を促進する。 | |

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

| | | | | | |
|--|----------------------------|--|-----|----------------|---|
| I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況 | | <ul style="list-style-type: none"> デジタル化に併せ、劣化した子局スピーカーの更新と22箇所の子局を新設したことにより、スピーカーの音質が向上するとともに、聞こえにくい地域が軽減された。 防災無線テレホンサービスを開設したことやWEBや携帯電話など様々なメディアを活用して同時に防災無線情報が提供できる情報配信システムを構築することができ、発報直後の「聞こえない」「放送の内容がわからない」という意見や問い合わせが減るなど、問題が改善された。 | | | |
| II 定量的指標の達成状況 | 指標（災害時における情報提供手段に対する市民満足度） | 最終目標値 | 20% | 目標値と実績値に差が出た要因 | <ul style="list-style-type: none"> スピーカーだけの音声放送だけではなく、電話応答による確認や、様々なメディアにより同時にデータ確認ができるようになるなど、時代の変化に対応した情報入手環境が充実したことによる。 |
| | | 最終実績値 | 60% | | |
| III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述） | | <ul style="list-style-type: none"> これまで統一管理されていなかった情報発信網の一元化を図ることができ、様々な媒体により瞬時に情報提供ができるようになった。 電話自動応答装置を導入し、無線の発報内容を電話音声で伝えることで情報弱者対応として情報提供の充実を図ることができた。 情報入手手段や防災情報を掲載した「減災マップ」と「地域防災計画（概要版）」を作成し、自治会配布や防災講演会、防災訓練などで配布することで、広く市民に周知することでできより大きな効果を得ることができた。 | | | |

3. 特記事項（今後の方針等）

・デジタル機器との親和性が向上したことにより、新たに開発される媒体を利用して情報発信することが可能となるため、今後も更なる情報提供手段の確保につとめ、安心・安全な災害に強いまちづくりを推進する。

(参考様式3)

| | | | |
|-------|----------------------------|------|--------|
| 計画の名称 | 安心・安全な災害に強いまちづくり推進 (防災・安全) | | |
| 計画の期間 | 平成25年度 ~ 平成27年度 (3年間) | 交付対象 | 千葉県市川市 |

【基幹事業】

| | | |
|-------|----------------------|--------|
| 1-A-1 | 防災行政無線再整備事業(H25~H27) | |
| H25年度 | 調査設計委託 | 一式 |
| H26年度 | 無線機親局更新 | 1基 ★ |
| | 遠隔装置更新 | 1基 ★ |
| | 既設子局デジタル化 | 44基 ● |
| | 新規設置子局 | 10基 ● |
| | スピーカー更新 | 191台 |
| H27年度 | 既設子局デジタル化 | 141基 ● |
| | うち子局柱更新 | 4基 ● |
| | うち子局柱再配置 | 2基 ● |
| | 新規設置子局 | 12基 ● |
| | スピーカー更新 | 549台 |

【効果促進事業】

| | | |
|-------|--------------------|------|
| 1-C-1 | 防災サーバー整備事業 | |
| H26年度 | 防災サーバー導入 | 1基 |
| | 電話自動応答装置導入 | 1基 |
| 1-C-2 | 減災マップ作成事業 | |
| H26年度 | 減災マップ作成 | 5万部 |
| 1-C-3 | デジタル戸別受信機整備事業 | |
| H27年度 | デジタル戸別受信機 | 150基 |
| 1-C-4 | スマホ版防災サイト構築事業 | |
| H25年度 | 防災サイト構築 | 1式 |
| 1-C-5 | 市川市地域防災計画(概要版)作成事業 | |
| H26年度 | 地域防災計画(概要版)作成 | 14万部 |

